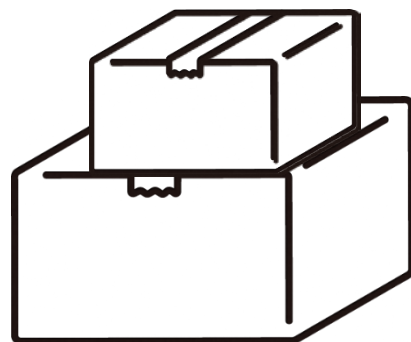
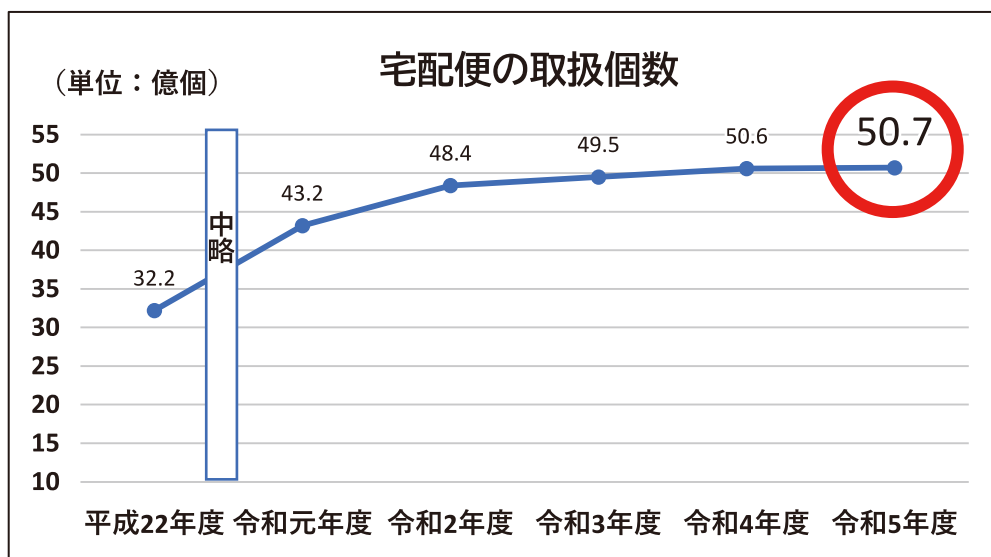


人と地球のために

「再配達の防止」に取り組みませんか？

再配達によって排出されるCO₂量は年間約25.4万トン！！

近年のインターネットを利用した通信販売（EC）の伸びとともに、**宅配便**の取り扱い個数は急増しており、令和5年度は**約50億個**にのぼっています。



（国土交通省物流・自動車局貨物流通事業課「令和5年度宅配便・メール便取扱実績について」より作成）

国土交通省が定期的に行っている宅配便の再配達率サンプル調査の令和6年10月期調査結果では、宅配便の個数のうち**約10.2%が再配達**となっています。また、令和2年度に国土交通省が行った試算では、再配達のトラックから排出される**CO₂の量**は、年間で**約25.4万トン**と推計されています。

宅配便の再配達率 サンプル調査	令和6年10月 （調査期間：R6/10/1～10/31）		
	総数	再配達数	再配達率
都市部	830,689	96,565	11.6%
都市部近郊	1,570,386	151,465	9.6%
地方	160,330	12,960	8.1%
総計	2,561,405	260,990	10.2%

（国土交通省物流・自動車局物流政策課「宅配便の再配達率サンプル調査結果（令和6年10月期）」より作成）

再配達は、ドライバーの労働時間を増加させるだけでなく、地球温暖化を加速させ、人にも地球にも負荷をかけています。

再配達を防止するための取り組み

1 時間帯指定の利用

受け取れる時間をあらかじめ指定しておくことで、再配達を防げます。また、荷物を送るときにも、事前に相手に受け取りやすい日時を確認しましょう。



2 受け取り場所の指定

自宅で直接受け取れないときは、置き配/宅配ボックスや宅配バッグの利用/宅配事業者の営業所での受け取り/コンビニエンスストアでの受け取りなどを指定しましょう。受け取り時間に在宅していなくても構わないので、時間にとらわれません。



3 大田市で買う

大田市のお店で買えるものは市内で買うと、CO₂排出量の削減だけでなく、地域経済の活性化にもつながります。



＼大田市公式YouTubeチャンネルにて／

『だらずうさぎのエコ生活
～再配達を考えて地球温暖化対策編～』

公開中!!

宅配業者から不在連絡票を受け取っただらずうさぎが、再配達は地球温暖化につながることを知り、再配達をしない工夫を考えていく動画です。ぜひご覧ください!!

＼動画はこちらから／



キエーロで生ごみゼロ生活にチャレンジ!!

キエーロとは…土の中の微生物のはたらきによって生ごみを分解する生ごみ処理容器のこと。

キエーロの使い方

◎準備するもの…キエーロ本体、土、スコップ、ふた付き容器

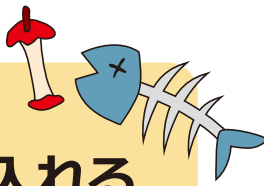
◎土の中の微生物が生ごみを分解するためには、日光・風・水分が必要です。そのため、キエーロは日当たりが良く、風通しの良い場所に設置しましょう。



▶詳しい使い方の動画はこちらから

(大田市公式 YouTube チャンネルへアクセスします)

1 生ごみをふた付き容器に入れる



3~4日間、ふた付き容器に生ごみを溜めます。1回にキエーロに入れる生ごみの量は、500g(三角コーナー1杯分)程度が目安です。

2 キエーロに生ごみを入れる

土に深さ30cm程度の穴を掘り、そこへ生ごみを入れます。深く掘ることで、虫が発生しにくくなります。



4 乾いた土を被せる

③の上に乾いた土をたっぷり被せます。中の生ごみのおいが漏れにくくなり、虫の発生を防ぎます。

3 生ごみと土を混ぜる

生ごみと土の見分けがつかなくなるまで、スコップなどでしっかりと混ぜます。微生物が生ごみを分解するためには水分が必要のため、握ってお団子ができる程度の水分量に調節しましょう。

- 生ごみと土を混ぜる際に水分量が足りない場合は、水を加えましょう。その際、煮物や炒め物などで鍋に残った汁、お味噌汁の残り、お米のとぎ汁、麺のゆで汁などを投入しても大丈夫です。
- 生ごみが分解されるまで、夏場は4~5日、冬場は2~3週間ほどかかります。
- 土は堆肥としても使用できます。堆肥として使ったときは、その分土を足しましょう。

キエーロモニターアンケート結果

当協議会では、ごみ減量化の取り組みの一環としてキエーロモニター事業を実施し、参加者の方々に対して、約2か月間の使用状況などについてアンケート調査を行いました。

モニター事業内容

モニター参加者数…8人
アンケート回答者数…8人(回答率100%)
キエーロの大きさ…幅80cm、奥行き45cm、高さ45cm程度(底付きタイプ)

Q.キエーロに生ごみを投入する頻度は?

A. 週2回…4人 週3回…2人
週4回…2人

Q.1度にキエーロに投入する生ごみの量は?

A. 1~300g…4人 300~600g…2人
600~1000g…2人

Q.ごみの減量効果について

A. ごみ袋の大きさが小さくなった…1人
ごみ出しの回数が減った…1人
ごみ袋の大きさやごみ出しの回数は変わらないが、量が減った…3人
変化なし…2人
その他…1人

Q.今後もキエーロの使用を続けたい?

A. 続けたい…8人 続けたくない…0人



- 夏場はコバエが減って良い。家庭の生ごみが減り、堆肥に出来ると思うと楽しいから続けたい。
- 生ごみが原因でのごみ出しをしなくてよくなり、ごみ袋が満杯になってから収集に出せるので経済的。
- 煮汁の残りや、真夏に腐らせてしまったものも処理できるので便利。

\\ 共催イベントのお知らせ //

おおだ自然エネルギーパーク 2025 10周年記念

総合地球環境学研究所 所長

山極 寿一氏 講演会

2025年

3/30 日

受付 9:30
開演 10:00

大田市民センター4階集会室

(演題) 人類は、何を失いつつあるのか

入場無料 ▼ 要予約



主催 / おおだ自然エネルギーパーク実行委員会 共催 / NPO法人緑と水の連絡会議 大田市地球温暖化対策地域協議会 (公財)しまね自然と環境財団 国立三瓶青少年交流の家
後援 / 大田市 株式会社 山陰合同銀行 緑パワーしまね 事務局・お問い合わせ / おおだ未来づくり会議 (担当 伊藤) 090-6402-5242

発行：大田市地球温暖化対策地域協議会(事務局：大田市役所環境政策課) ☎0854-83-8071
大田市自治会連合会